

大阪・関西万博奈良県実行委員会

第3回役員会 資料

1. 専決処分(会則及び予算)の報告
2. 実行委員会事業の中間報告
 - I. 実行委員会のロゴマーク等について
 - II. 万博開催中の会場催事の準備状況
 - III. 機運醸成事業の報告と今後の予定
 - IV. 県内誘客事業の報告と今後の予定
3. その他

令和6年12月24日(火)
於 奈良県庁 5階 第1応接室

会長の専決処分について

大阪・関西万博奈良県実行委員会会則（以下「会則」という。）第 11 条第 1 項の規定に基づき、令和 6 年 10 月 24 日付けで下記のとおり専決処分を行ったので、同条第 2 項の規定に基づき、報告する。

記

- 1 会則の改正について
三宅町及び王寺町の会員追加に伴う、所要の改正
 - ・参加予定会員の削除（附則第 3 項及び第 4 項並びに附則別表第 1 関係）
 - ・会員の追加（別表第 1 及び第 2 関係）

- 2 令和 6 年度補正予算について
 - 〈歳入予算〉
増額：1,750 千円（257,250 千円→259,000 千円）
【増額理由】
三宅町及び王寺町の会員追加に伴い、市町村負担金が増加するため

 - 〈歳出予算〉
増額：1,750 千円（257,250 千円→259,000 千円）
【増額理由】
三宅町及び王寺町の会員追加に伴い、市町村連携事業に係る運営費が増加するため

参考：大阪・関西万博奈良県実行委員会会則（抜粋）

（会長の専決処分）

第 11 条 会長は、役員会において決議すべき事項について、緊急を要するため会議を招集する時間的余裕がないとき又は軽易な事項と認められるときは、専決処分に行うことができる。

2 前項の規定により専決処分したときは、会長はこれを次の役員会に報告しなければならない。

2. 実行委員会事業の中間報告

2-I

実行委員会のロゴマーク等について

資料 2 - 1 実行委員会のロゴマーク等について

2024年10月20日(日)に開催した、「EXPO2025半年前スペシャルイベント-万博へ！みんなで紡ぐ 奈良の未来-」の中で、

- (1)大阪・関西万博奈良県実行委員会のロゴマーク
- (2)奈良県催事タイトル
- (3)大阪・関西万博の奈良県応援キャラクター の発表を行いました。

(1)大阪・関西万博奈良県実行委員会のロゴマーク



奈良県がこれまで積み上げてきたものと、万博終了後も続く奈良県のこれからの姿を、「輪」と「道」で表現し、期待感・ワクワク感を醸成するという考えのもと、ロゴマークを作成しました。

(2) 奈良県催事タイトル

「なら Weaving the Future はじまりの地から未来を紡ぐ」



「EXPO2025半年前スペシャルイベント-万博へ!みんなで紡ぐ 奈良の未来-」の中で、奈良県在住の書家・逢香さんの書道パフォーマンスにより、披露いただきました。

コンセプト: 1300年以上の昔から変化を受け入れ、新たな価値観を生み出しながら連綿と続いてきた奈良。

穏やかな時代も激動の時代も、物語を紡ぐように豊かな自然・歴史・文化を大切に守り・育て・継承してきました。

そして次の時代へ、ここ、はじまりの地、奈良から未来を表現していきます。

(3)大阪・関西万博の奈良県応援キャラクター

大阪・関西万博の奈良県応援キャラクターに、下記の理由から、手塚治虫さんの生み出したキャラクター「火の鳥」を採用しました。



©Tezuka Productions



採用理由:

- ▶ 『火の鳥 鳳凰編』をはじめとして作品の舞台として奈良や奈良時代のできごとが登場する、奈良とゆかりのあるキャラクターであること
- ▶ 作品の中では永遠の命を持つ存在として、悠久の時を超え、未来に向けて命を導いていく象徴でもあり、万博のテーマである「いのち」にマッチすること

2. 実行委員会事業の中間報告

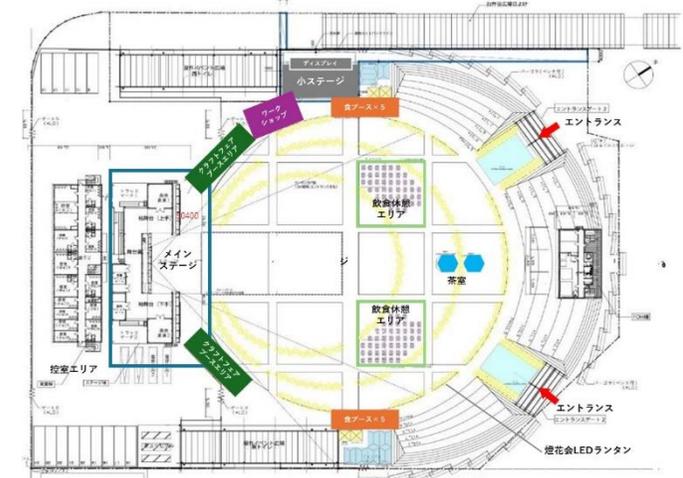
2 - II

万博開催中の会場催事の準備状況

資料 2 - II 万博開催中の会場催事の準備状況

① EXPOアリーナ(Matsuri)

開催期間：令和7年5月27日～29日
 開催場所：EXPOアリーナ(Matsuri)
 催事内容：Ⅰ メインステージ
 (県無形文化財の祭等を披露)
 Ⅱ 小ステージイベント
 Ⅲ 奈良の食を味わうブース
 Ⅳ クラフトフェア・ワークショップ
 Ⅴ 奈良の木茶席・燈花会



② 関西パビリオン多目的エリア

開催期間：令和7年4月15日～26日
 開催場所：関西パビリオン多目的エリア
 催事内容：①市町村等PRブース
 ②万博BENTO企画
 ③観光・歴史文化関連展示



③ 「Dialogue Theater -いのちのあかし-」 河瀬テーマ事業プロデューサーとの連携事業

○NARative撮影地協議会 連携イベント
 開催場所：EXPOホール (シャインハット)
 開催期間：令和7年6月12日
 催事内容：撮影した若手監督や撮影に協力した地元関係者と河瀬監督との対話型イベント等を実施

○Dialogue Theater 森の集会所での出展
 開催期間：令和7年9月12日～25日
 催事内容：①市町村等PRエリア
 ②万博ピアノ企画



(c) Naomi Kawase / SUO, All Rights Reserved.

○市町村のPR動画の制作事業
 催事内容：河瀬直美テーマ事業プロデューサーが監修のもと、実行委員会参加市町村のPR動画を制作し、万博会場や県内各地で放映、掲出

①EXPOアリーナ(Matsuri)

「メインステージ」

TOPIC
1

能楽パフォーマンス

「Shin Noh – Homage to Zeami (仮名)」

奈良発祥の日本が誇る伝統芸能「能楽」と世界が認めたアーティストによる「映像芸術」と「現代音楽」を融合させた新しいエンターテインメントを創作する。芸能のはじまりの地である奈良県から日本文化の素晴らしさや可能性を万博の機会を通じて世界に発信する。

- 【構成】
- ・金剛永謹師（金剛流宗家）による伝統的な型付と舞
 - ・川井憲次氏（作曲家）による現代音楽での謡・囃子
 - ・真鍋大度氏（メディアアーティスト）による映像芸術で舞台演出



シテ方金剛流二十六世宗家
こんごうひきのり
金剛永謹師

紫綬褒章受章
人間国宝認定
フランス芸術文化
勲章オフィシエ受章 等



作曲家/編曲家
かわいけんじ
川井憲次氏

GHOST IN THE SHELL /
攻殻機動隊
イノセンス
新日本風土記 等



アーティスト/プログラマー/コンポーザー
まなべだいと
真鍋大度氏

リオ五輪2016大会閉会式
天皇陛下御即位をお祝いする
国民祭典
Perfume LIVE 等

TOPIC
2

「奈良県の無形民俗文化財」、 「奈良歴史絵巻（仮名）」の上演

ライブ中継カメラを入れて、ダイナミックな映像を大型ディスプレイに投影。ディスプレイは3面をフルに使い、奈良の歴史の中で紡がれてきた古典音楽・民俗芸能を間近で鑑賞したり、奈良時代の様子を今に再現する鮮やかな行列や催事を魅せたりしながら奈良の豊かな歴史と文化を披露する。



出演予定団体

- ・春日若宮おん祭
 - ・十津川の大踊
 - ・曾爾の獅子舞
 - ・ススキ提灯献燈行事
 - ・平城京天平行列
 - ・天理大学雅楽部
 - ・御齋会
 - ・生駒中学校吹奏楽部
- ※その他団体と出演交渉中

① EXPOアリーナ(Matsuri)

II 小ステージ

「酒の文化つむぐ奈良」

古代～中世～現代とつながってきた奈良の酒

TOPIC 1

古代酒を復元 !? 奈良文化財研究所×油長酒造×末廣学氏 スペシャルトークセッション

奈良文化財研究所が、出土した木簡をもとに古酒を復元するプロジェクトを紹介。プロジェクトに携わる油長酒造の山本長兵衛氏や、須恵器の復元を担当する備前焼作家の末廣学氏とともに、制作の裏話を語る。



古代

TOPIC 2

奈良県菩提酛による清酒製造研究会（菩提研） 奈良酒スペシャルトークセッション

清酒発祥の地・奈良の由来と、正暦寺で僧侶が神仏に捧げるために造っていた「僧坊酒」の歴史を紹介。複雑な醸造用語を解説しながら、奈良の酒の歴史とその文化が今にどう受け継がれているかを深掘りする。



中世

数量限定で、古代・中世それぞれの発表タイミングにその時代の酒の試飲を実施。
会場内の日本酒の試飲ブースと合わせて体験してもらうことで、昔と今の奈良酒を比較し、楽しんでもらう。



そのほか、飛鳥・藤原世界遺産登録に向けたトークイベントや、奈良県産の飲食や産業についてのPRステージを企画検討中。

III 奈良の食を味わうブース

IV クラフトフェア・ワークショップ

脈々と受け継がれてきた奈良の食文化をPR。優れた県内製品を集めたクラフトフェア、工芸体験ワークショップを開催。

※実行委員会会員の経済団体等と出展交渉中



V 奈良の木茶席・燈花会

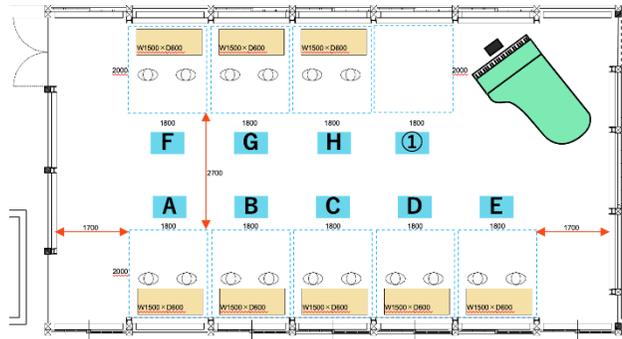
世界的に活躍している建設家・古代裕一氏と岡部太郎氏が奈良の木を使用した茶室をデザイン・制作。木の香りを楽しみつつ、伝統産業（高山茶せん、赤膚焼等）を手に取りながら、ゆったりと大和茶を味わうことができるお茶席ブース。

夜間は会場全体で燈花会を開催し、美しい奈良の夜を演出する。



③「Dialogue Theater -いのちのあかし-」 河瀬テーマ事業プロデューサーとの連携事業

会場レイアウト案



I 「Dialogue Theater -いのちのあかし-」 森の集会所

日程：令和7年9月12日～25日

県内商工団体との連携事業（12日～15日）
市町村PRエリア（16日～25日、各2日）
他、ワークショップ、歴史文化展示など



(c) Naomi Kawase / SUO, All Rights Reserved.

II 万博ピアノ企画～2つの万博をつなぐ～

場所：森の集会所

日程：令和7年9月12日～15日



1970年の大阪万博会場で使用した
ピアノ（所有：県立宇陀高校）

企画① “万博ピアノ” 講座
万博ピアノの歴史、ピアノの仕組みや調律など、ピアノについての知識を深められる講座。
(製造者の河合楽器との連携)

企画②ミニコンサート
宇陀高校教員、生徒による万博ピアノミニコンサート。

III 市町村のPR動画の制作事業

河瀬直美テーマ事業プロデューサーが監修のもと、実行委員会参加市町村のPR動画を制作し、万博会場（Dialogue Theater等）や県内各地で放映、掲出

□動画コンセプト

～音のない美しき奈良～

騒々しい都会の喧噪から離れ非現実的で圧倒的静寂が織りなす豊かさを表現

1300年以上の歴史を持つ古都奈良・39市町村の美の静寂に触れ“いのちを感じる作品に”



□撮影状況

令和6年12月から撮影開始。令和7年5月までに全市町村の撮影を終了予定